

AOMORI・IWATE・MIYAGI・AKITA・YAMAGATA・FUKUSHIMA

第27号

発行所
東北地区屋外広告美術業組合連合会
情報文化委員会
事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番地10号
TEL 022-257-0437

年頭のご挨拶

東北地区屋外広告美術業組合連合会 会長 犬戸 邦男

福島県屋外広告美術協同組合理事長
(福島県) 株クリエイティブダイワ

二〇一六年の念頭にあたり、昨年の皆様のご協力に深く感謝申し上げますと共に、今年も皆様にとって希望に満ちた良い年になりますよう衷心よりご祈念致します。

二〇一一年三月会長の職に就いて、早五年が過ぎようとしており、今年も年の初めに先ずは役員・会員の皆様、この間、支えて頂きました事に對しまして改めて御礼と感謝を申し上げます。特に、各委員会の皆様には年間行事活動にご尽力頂きました事に重ねて深く感謝申し上げます。そして、今回も啓発事業委員会の皆様におかれましては、ご多用のところ、また厳しい予算の中、無事機関誌を刷り上げる事が出来ましたことに重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年は日広連全国大会が東北地区連主管理で郡山市にて六月四日(木)、五日(金)、六日(土)の日程で執り行われました。東北南三県担当の元、福広美が中心となり準備が進められた訳ですが、皆様の御蔭で大盛況裡にて無事終了する事が出来ました。いまだに各地で全国の仲間にお会いする度に「素晴らしい大会であった・観光もゴルフも料理も最高でした・各県ご自慢の日本酒も良かった。」等々お褒め頂いております。これも偏に皆様お一人お一人の心の籠った「おもてなし」が来訪して下さい下さった方々に通じたのだと考えます。今度は今年六月二日(木)から鳥取県で行われます全国大会に参加を致し昨年お世話に成った分をお返しする時です。是非、宜しくお願い申し上げます。中国地区から何人来て頂いたか、鳥取県から何人来て頂いたか、今度は義理返しの時です。今から旅行のバックを手配し鳥取大会成功に向けて皆様のお力添えの程宜しくお願い

申し上げます。

ところで、一昨年から私たちの業界においてまたとない変革のチャンスが訪れています。それは国交省指導のもと、業界のイメージアップ戦略が引き続き行われているということです。日広連と国交省の元、昨年発行されました「オーナーさんのための看板の安全管理ガイドブック」が既に一万八千部が発行され、いまだ各地から続々と申し込みが続いている状況です。このガイドブックの活用もどうぞ宜しくお願い申し上げます。又、今年三月末を目途に、昭和五十五年建設省(現国土交通省)および(社)全日本屋外広告業団体連合会が中心となって策定された「屋外広告物安全基準(案)」が改定されます。安全点検を定期的にとのように行うかを考える良い機会です。これも我が業界の一步前進に繋がります。是非、安全・安心・コンプライアンスの観点で今後も業務に取り組み参りましょう。

さて、昨年末に発売された「ギリシャ人の物語 塩野七生著」をお正月読みました。二千数百年前に民主主義が成立していたとかで大変参考に成りました。是非、皆様も読まれてみては如何でしょうか。人間は過去の歴史に学んでいる訳なのに同じことを繰り返しているのは何故だろうと考えさせられました。

最後に、六月の全国大会への参加・六月の広告景観検定二級三級の受験依頼・七月の官民合同会議等々の参加依頼をお願い致しますと共に、併せて今年も役員・会員の皆様の地区連に對しましてのご指導・ご鞭撻・ご協力を重ねてお願い致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

40W, 32W, 30W, 20W形
フルラインナップ

サイン専用ホルダー装着例
その他使用用途に合わせた
形状をラインナップ!!

デルライトII (直管LED)

LED
電源別置き型

- 昼光色 6500K
- 300°の広い開口
- 器具電線 認証
- LED素子 LGインテック社
- 電源IP65相当

照射角度 300°

3年保証 ※3年保証(万一、商品に不具合があった場合、物品交換対応となります。)

国内生産 Made in Japan
6500K・2700K

レンズ型 KITERETSU 3年保証

専用電源(定電流) 3年保証

定電流電源	電源電圧	電圧特性	接続個数	最大入力電流	最大出力電流
350mAタイプ (WKLZ350-144H)	80V	144V	20	40	0.90/0.25
700mAタイプ (WKLZ700-144H)	80V	144V	20	40	1.00/0.48
700mAタイプ (WKLZ700-72H)	27V	72V	9	20	0.90/0.25

Made in Japan

消費電力 2.1W
コンパクトサイズ 42mm x 27mm
定格寿命 40,000H

協和電工株式会社
大阪府平野区平野北1丁目7-12 TEL (06) 6792-5000
東京営業所: 東京都渋谷区広尾1丁目5-14 TEL (03) 6427-1990

[HOME PAGE] <http://www.kyowadenco.co.jp> [E-MAIL] kikaku@kyowadenco.co.jp

オリジナルシート見本帳

オリジナルシートライブラリー vol.5

屋内外用のマーキングフィルムをはじめ、木目調塩ビシート、メタリック&ホログラムシート、ガラス装飾シートを収録!

ローコストが嬉しい 屋内用木目調シート

平滑面に貼ってはがせる! 屋内用ガラス装飾シート

ディスプレイ床材 現物カタログ

カルテックス vol.1

カラーバリエーション豊富なパンチカーペットをはじめ、オンデマンド印刷対応品や人工芝などのディスプレイ用床材を多彩にラインナップ!

細かい模様もくっきり! オンデマンド印刷対応床材

TOTAL DISPLAY 株式会社 **パック**

〒136-0073 東京都江東区北砂1-4-19
TEL 03-5690-3611 FAX 0120-03-3321
<http://www.kinugawa.com/pack> info@pack-display.com



第57回 北陸連全国大会

in 東北・郡山2015

平成二十七年六月四日、郡山市「ホテルハマツ」での大会、懇親会から翌日の観光、ゴルフ、最終日の観光サヨナラパーティーまでの三日間は、大勢の皆様を全国からお迎えし、大会後には感謝の声を沢山頂戴しました。東北地区連主管の全国大会は十年前の青広美担当での青森県開催以来で、今回は南東北三県（宮城県、山形県、福島県）が担当となり、開催場所を福島県郡山市と確定した時点から「ご支援いただいている全国会員の皆様へ真心でおもてなしをしよう」を合言葉に福広美に発足した実行委員会が早々に起動し、強い結束のもと準備が着々と進められました。その結果、大会前の四月に実施された事前視察会での観光時間や料理の試食も行った結果を本番に活かして大会当日は福広美を中心とした東北六県が一体となって、全国から五三〇名を超える大勢の皆様を迎えて、最終日の六月六日のサヨナラパーティーまで存分に福島を楽しんでいただく次回開催の鳥取県へバトンを渡すことが出来ました。

日広連の皆様方や、地元福島の大戸地区連会長を始め、阿部副理事長、佐藤副理事長、長谷川副理事長、大久保専務理事、篠崎郡山支部長、本田事務局長、そして福広美理事や組合員の皆様方の長期に亘るきめ細やかな準備と懐の深い温かな心が詰まった笑顔一杯の大会を企画実行していただいたことに感謝し、更には東北六県の仲間として絆を再認識できた心に残る大会となりました。



福島県屋外広告美術協同組合
専務理事 大久保 晴 敏

平成二十五年七月十九日の実行委員会立上げから始まり、平成二十六年六月四日～六日の第五十六回松山大会参加視察で「エンジン」がかり、平成二十七年四月二十三日～二十五日の会場・行程視察会で「マジ」になり、平成二十七年五月十二日に参加人数五〇〇名超が明確になって「尻に火がつき」本番は前日の準備からさよならパーティー・打上げまでアツという間の四日間でした。

最初から最後まで広い心で私に総務部会を仕切らせてくれた大戸運営委員長をはじめ、各県の理事長各位そして、実行委員会のなかでそれぞれの職責を見事に務め切った実行委員の皆様へ敬意と心からの感謝を申し上げます。

加えて、足掛け三年、私のわがままと酷使に耐えて頂いた本田事務局長と東北地区連の事務局の皆様へ厚く御礼申し上げます。

お陰様で全スケジュールを無事故で完遂する事ができ、多々反省点は残りますが、ほっとしているのが本音です。もう一度同じ立場になったら「こうしたい」「ああすればいい」という考えが頭をよぎりますが、六〇年に一度の事ですから叶うはずありません……。

最後に我業界の全国大会が、形は時代に合わせて変わって来ても、今後も毎年続く事を念じて来年の中国地区鳥取大会の坂本会長、松島理事長にエールを送って結びと致します。ありがとうございました。






東北物産 無料コーナー

青森県・秋田県・岩手県・宮城県・山形県・福島県

今日の内、購入して、明日から菜々々 観光・ゴルフ…宅配便コーナーをご用意しております。






と う ほ く

全国大会を 振り返って

青森県屋外広告美術協同組合

理事長 国分 薫



あけましておめでとう
ございます。本年もよろ
しくお願いいたします。

さて、昨年の日広連全

国大会in郡山は結論からいえば大成功ではなかったでしょうか。登録人数も一〇年前の青森大会以来の五〇〇人を超えたと聞いております。これも東北六県の各単組の結束力、それを強いリーダーシップで引っ張った大戸地区連会長、団結力の素晴らしかった福広美さんの皆様、今回はすべてかみ合ったような気がします。私達青広美も一〇年前全国大会を開催しましたが、今回の福広美さんの周到な準備、おもてなしには感心させられました。

また昨年の東北地区連合同会議の前日の東北六県理事長会議が復活いたしました。これも全国大会を開催した効果で大変有意義な会議でした。全国大会で東北六県の結束力が今まで以上に増したのではないのでしょうか。

ところで、昨年十月三日、四日に『B1グランプリin十和田』が青森県十和田市で開催されました。私も青広美は一、五〇〇万円相当の看板等の共同受注をする事ができました。親会、青年部会とで力を合わせ仕事を致しました。特に前々日から爆弾低気圧の接近で強風が吹き荒れ、作業が困難をきたしましたが、青年部のお蔭で当日早朝五時から作業をし、何とか間に合わせる事が出来ました。本当に青年部の活躍に感謝しています。終わった後、何か達成感と組合の一体感を強く感じました。

私も青広美も十年前日広連全国大会

を開催し、終了した時、同じような感じでした。おそらく福広美さんも同じような気持ちではないでしょうか。

全国大会を開催した事でさらに東北六県が結束力を強め、十年後に又東北で開催されます。その時は今回以上に素晴らしい大会になるように頑張ります。(自分はそれまで生きていられるかな)

岩手県屋外広告美術協同組合

理事長 白澤 健次



震災後初めての東北大会でした。

約五年の歳月が震災の足跡をまだ地域に残しながらも、日広連全国の仲間たちに東北福島にきていただき、震災を意識させないながらも復興に力強い東北の組合の底力を出した素晴らしく楽しい福島だったと思います。

猪苗代湖を中心として歴史のある周辺観光は私にとっても皆様と一緒に観光見学は私に今までのないほどじっくり堪能しました。

諸橋近代美術館は事前視察も含め、二回も見せていただきました。近代美術館としては青森県十和田市にもありますが、諸橋近代美術館はそれとは違った胸がドキドキする様な感激を覚えました。

また、懇親会での仲間と飲むお酒は楽しく美味しく飲みました。東北六県から自慢の地酒の集合は、好きな銘柄を全国の皆さんに堪能していただくという初めての試みとしては、大成功だったと嬉しく思いました。

さよならパーティーでは、いつもながらアツという間の三日間で名残惜しい期間でした。

「福島大会万歳」の全員での乾杯でお別れを惜しみながら、次回、鳥取の大会での再会を約束致しました。

秋田県屋外広告美術協同組合

理事長 石井 正幸



大戸地区連会長はじめ福島組合員の皆様第五十七回全国大会in東北・郡山大会本場にご苦

勞様でした、秋広美といたしましては、

なにもお手伝いできず心苦しく思っております。二〇一三年より全国大会運営に対する組織を立ち上げ全国大会、今に、未来に、希望を持ち続けようのスローガンのもとに、心よりのおもてなしに徹底しようとする意気込みを感じ、また実行できたことに敬意を表するものであります。

全国大会、観光に初参加させていただきました。

き、会津飯盛山・あかね色の美しい会津鶴ヶ城の散策からはじまり、末廣酒造・会津藩校日新館・森の中緑色の美しい庭にたたくむ諸橋近代美術館・裏磐梯ロイヤルホテルでは東北六県のお酒でのおもてなし、次の日の雨の予報に傘の準備と対応をされる福島のスタッフの心遣い、そこは日ごろの行いの良さで、朝には天候回復傘の出番はなくなりました、バスの中から五色沼を眺め・リニューアルした野口英世記念館を見学・隣のお土産で喜多方ラーメンの試食、限定品のラーメンを購入・世界のガラス館・そしてみなさんのお腹も心も大満足の笑顔！笑顔！アサヒビール園でのさよならパーティーは最後にふさわしい盛り上がり！笑顔でバスに乗り込む姿は最高の思い出となりました、天候にも恵まれ、おいしい地元料理・開催地福島の温かい心使いに感謝！

感謝！ただ一つ、一人より、ペアでの参加がベストであると思われられました。今回観光に参加させていたいただき、毎回参加されている多くの組合員がいることが理解でき、組合員どうしの深いきずなが架け橋に役立っている事に気づかされました。二〇一六年は鳥取での再会を楽

しみにしています。

宮城県屋外広告美術協同組合

理事長 阿部 泰彦



二〇一〇年東北新幹線が全線開通、今年の三月には北海道新幹線が開通し北海道と東北が新幹線

で結ばれ北東新時代を迎えます。

登米市観光物産協会と登米中央商工会の代表を担っている関係で先日、北陸新幹線を利用して富山、金沢など日本の西側を視察して参りました。以前から西と東では経済の動きや行政、商工観光の面でも較差があると聞いていましたが、全くその通りで北陸新幹線開通の交流人口、観光客数、地域振興等の施策は目を見張るものがありました。

昨年六月に東日本大震災、原発事故の被災地福島県郡山市で開催の日広連第五十七回全国大会in郡山。東北地区連の事務局を担当している宮広美も微力ながら、ホストとして開催に協力して参りました。

大戸地区連会長率いる福広美は東北地区内随一の会員数を誇り、青年部活動も含めて非常に活力のある会員団体であります。大会の式典は勿論、諸会議等の設置、大会の進行、大懇親会、ゴルフツアーや観光ツアー、そしてさよならパーティーまで大会の準備から終了まで完璧で大変盛大な素晴らしい全国大会を開催することができ、全国から集まった五三三八名の参加者皆さんが福島を、そして私たちの住む東北を満喫され思い出に残る全国大会ではなかったかと思えます。

東北の被災地も復興工事が進み新しい復興のまちが復活し人々の声が聴こえ、笑顔が戻って幸せな生活が出来るような地域になってほしいと思います。

地方創生政策が東北の隅々まで浸透し発展することを願っております。被災地福島県郡山市で大成功の全国大会のバト

ンは中国地区連鳥取県でタッチされました。今年鳥取で会いましょう!!

山形県屋外広告美術協同組合

理事長 佐藤 辰夫



東北の地「郡山」に全国より来賓含め会員五三三八名の参加を頂いた第五十七回日広連全国大会は、

四年ぶりの参加者五〇〇名の大台を超え無事に開催されました。

後日の日広連紙や全国の参加頂いた同業者の方々からは近年に無いホストの手作り感のある全国大会であったと感謝の声を多く頂きまして、東北地区連会員の一人として誇らしく感じております。

六月開催二か月前の四月二十三日、二十四日、二十五日の日程で本番と同じ工程で会場・会議・移動方法・観光・懇親会・宿泊等を東北六県の理事長及び福島組合員の皆様方と視察と会議を開かせて頂きました。

本番と同じメイン会場のホテルハマツに着き会場に入り感じられたのが、福島の会員の方々の熱気ある団結力の凄さ及び緻密な会議の進行のうまさ、そして何より各担当者の方々の参加者へのもてなしの心遣い等の配慮でした。

最終日各県の理事の方々、福島の会員の皆様に全てをお任せして万全であると確信し本番を迎えることができました。開催当日は天候にも恵まれ地区連の皆様方にも多数の参加を頂き全国の会員の方々と懇親を深められたのではないのでしょうか。

本大会を持ち前のリーダーシップで導いて頂きました大戸地区連会長・終始裏方に徹した大会を心に残る事業にしていただいた福広美大久保専務理事・本田事務局長・福広美会員の皆様方に厚く御礼申し上げます。重ねて地区連事務局及び地区連会員の皆様方にも御礼申し上げます。

第38回東北6県公共キャンペーン作品展開催



東北地区連会長賞
宮城県 (有)カノン広芸



(一社)日広連会長賞
岩手県 (有)第一美工



国土交通大臣賞
宮城県 (有)ホソカワアートディスプレイ



優秀賞5
福島県 (株)エーティブダイワ



優秀賞4
山形県 (有)大井看板



優秀賞3
宮城県 (有)ササキ創芸



優秀賞2
福島県 (有)ネモト功芸社



優秀賞1
青森県 (株)エーアイサイン

【概況】

十月十六日、十七日の二日間東北六県公共キャンペーン作品展が岩手県盛岡市駅前「滝の広場」で開催された。東北六県統一テーマ「今に、未来に、希望を持ち続けよう KEEP YOUR HOPE」で、初日には東北地区連の審査基準に則った審査が行われ、全三十四点の作品から、第一位の国土交通大臣賞は、宮城県(有)ホソカワアートディスプレイ(細川晶子氏、製作者・武田員昌氏)に決定した。(二社)日広連会長賞には岩手県の(有)第一美工(多田國雄氏)、東北地区連会長賞には宮城県の(有)カノン広芸(菅野文男氏、製作者・菅野望氏)、優秀賞には五作品が入選した。

審査委員長は、地元岩手で活躍されているアートディレクターの杉本吉武氏に、審査員には盛岡情報ビジネス専門校の竹村育貴氏に務めていただき、開催県の東北地区連白澤技術開発委員長、佐藤副委員長、藤田専務理事の立会いのもと厳正な審査が行われた。

【講評】

第三十八回東北六県公共キャンペーン 作品展審査を終えて

盛岡情報ビジネス専門校
竹村育貴氏

今回の東北公共パネル展では、素材感を生かした作品と広告美術の持つ優れた技術が発揮された作品が、拮抗したパネル展となった。

日常の業務の中では耐候性や視認性、クライアントの意向のバランスの中で製品を作られているのだが、今回のように短期間の掲示、公共パネルという特性を生かしての制作が明暗を分けたように感じる。

国土交通大臣賞

(有)ホソカワアートディスプレイ
半立体の木製パネルは素材感を特に出していた。この立体感における空間の表現は「reconstruction(復興)」のテーマ表現に大いに効果をもたらしている。日常の屋外広告として考えると耐候性に疑問はあるものの、今回のような公共パネルでは一般の来場者に確実な注意を惹くことに成功している。コピー表現が限られているが、全体の共通ロゴに組み込まれたコピーを、最大限に汲み取れている点はデザイン性の高さも感じられた。

(一社)日広連会長賞

(有)第一美工
広告美術の花形とも言うべき筆使いで、熟練の存在感を存分に表現している作品である。昨今の制作技術の中では、パソコンから機械出力が主流であるが、筆書きで表現された作品は、やはり見る者を引き込む絶対的な力を再認識した。テーマ自身は、リアルタイムに社会性をとらえた「世界遺産」であり、時代を切り取りメッセージとして発信するデザイン性も合わせて評価された。

東北地区連会長賞

(有)カノン広芸
一位作品と同様に、耐候性を考えれば日常の業務では選ばないチャレンジをした所が、新たな感動を生み出した。彫り込まれた文字に木目が浮かぶ表現がここまで綺麗なものなのだと教えられた。子どもたちの笑顔のイラストレーションが、オリジナルテイを担保したクオリティで表現できた事が、素材感を一層際立たせるポイントであった。

優秀賞1

(株)エーアイサイン
通常、パネルの様な大型の媒体は、遠方から目立つことを最優先に考えがちであるが、細かに表現された内容が見るものの興味を引くことに成功している。また、イラストのクオリティやすごろくの自身のゲーム性

などストーリーを持つメッセージを伝えきっている部分が評価された。

優秀賞2

(有)ネモト功芸社
昨今の機械の進歩からアクリルに直接プリントすることも可能となり、今回もそれらの作品が見かけられた。この作品中では透明アクリルの特性をもって裏面にプリント、表面にカットイングシート仕上げを行っている。背景と合わせると三層の階層で描き切ったことが奥行き感をもたらした。パネルの完成度を高めることに成功している。

優秀賞3

(有)ササキ創芸
日本美を意識したチャンネル文字と和柄の模様の処理が効果をもたらしている。和柄はすべてカットイングシート仕上げであり細やかな仕事に光る作品だった。

優秀賞4

(有)大井看板
津波石のモチーフを半立体に仕上げた加工にインパクトがありました。「沈黙の語り部」というタイトルも独自のロゴで表現されている部分が評価された。

優秀賞5

(株)クリエイティブダイワ
造花ではあるが、実物がふんだんに使用されていたため非常に明るいイメージが表現されていた。造花の種類の間係でパリエーションが限られている部分に表現の限界を感じた。手間はかかるが、すべて違う花で構成された際のインパクトは非常に大きい。

亜鉛箱文字 全国配送

素地から完成品まで

シート貼り・塗装・LED組込みもお任せください。



お急ぎの物件も
どうぞお気軽に
ご相談ください!

亜鉛箱文字専門メーカー
株式会社パックス・トア

pax-toa 検索

TEL 0120-19-5006 FAX 0120-8585-31
hakomoji@pax-toa.com http://www.pax-toa.com



山形県



『看板屋は看板を出さない?』

山形県屋外広告美術協同組合

置賜支部 三澤 正義

(有)三沢看板

近年希に見る暖冬を迎えた二〇一六年の山形県米沢市。昨シーズンの記録的な豪雪がまるで嘘のような穏やかな天気が続いています。昨年未だ機関紙「とうほく」への寄稿文の依頼を受け、投稿内容に悩みましたが「日頃の雑感・今思うこと等をご自由にお書き下さい」という寄稿原稿内容を素直に受け止め寄稿することにしました。

私の住む山形県米沢市は、古くから原始・古代から開発が進んだ地域で数多くの縄文遺跡も確認されています。「独眼竜政宗」として戦国の世に名を馳せた伊達政宗もここ米沢で生まれ、二十五歳まで青年期を過ごしたと言われています。江戸時代には、上杉景勝(戦国の名将・上杉謙信の後継者)が越後から会津を経て米沢に入封、重臣直江兼続の指揮で城下が拡張され、現在の米沢市街の基盤が築かれたという歴史を持ちます。

この米沢の地で、平成十九年に先代社長の父から会社を引き継ぎ、昨年で創業五〇年の節目を迎えた弊社ですが、ネットの普及や地方経済の疲弊の影響もあるのでしょうか?地元業界の景況感は芳しくないようです。中には「看板の社会的な役割は終わった」という時代を嘆く方もいるようで景気の悪さを実感します。

数年前「看板屋は看板を出さない?看板業界の真実」という見出しの記事を目にしました。日本における看板屋といわれる業種は広告代理店・店舗装飾業者・看板製作業者の三つに分類され、看板製作会社は圧倒的に他の二社からの下請け・もしくは大手看板製作会社からの仕事

がほとんどなので「看板屋さんは看板を出さない」理由はこのためだ!という興味深い記事でした。看板製作会社は黙っていても仕事があるので、営業をしない自然と営業下手になるという理屈だそうです。看板業界を否定するような釈然としない記事でしたが、どこかの得ている内容に心を揺さぶられました。確かに看板を出さない営業活動をしていない看板業の方は多いようで、自分の事業所もそのひとつ。そこで営業活動に一定の効果を期待し、会社のホームページの立ち上げと同時にフェイスブックの企業ページを公開してみました。今年で丸四年になります。営業下手な私の苦肉の策、ネットを利用したウェブでの公開でしたが、四年間の間に少しずつですが仕事に変化が出てきました。まずは新規のお客様からの問い合わせが多くなったこと。公開して半年たった頃から月に二〜三件の頻度で問い合わせがあります。そして看板の製造過程や設置現場の画像を数多く紹介しているうちに、不思議と従来のお客様からも問い合わせが増えてきたこと。これは投稿した画像に興味を持ち、連絡して頂くきっかけを作れたことが理由だったようです。看板の画像を撮影し、ネットに掲載することを喜んでくれる方が多くなったのも特徴的でした。そして最後に投稿する習慣は身についていたお陰なのか社で製造した看板に以前より愛着が湧くとともに仕事に誇りを感じるようになったことが活用しての一番大きな収穫だったかもしれません。以前はお客様と仕事の話をすると、未だに看板業は「ペンキと刷毛で絵や文字を書くだけの仕事」とアナログなイメージを抱く方が多かったのですが、地道なネット活用の表れなのか、最近で

はお客様の方から具体的な内容でのデザインや企画・立案を要望する声も多くなりました。

看板は視覚的に訴える、効果的・有効的な情報ツールだと思っています。新しい分野の仕事の模索や、営業圏以外での仕事・値引きでの仕事の受注も時には必要なことだと思いますが、意外と見過ごしているのが地域で潜在的に眠っている「看板業界への需要」の見直しや、長い間に培われた業界内の慣習を改めることにヒントがあるのかもしれない。

東北地方を襲った東日本大震災から丸五年経ち、少しづつ東北地方にも復旧・復興に関する明るいニュースも届くようになりました。東北地区連の皆様これからの看板業界の発展・地域の賑わい作りのために頑張っていきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

第二回

山形広告景観タウニング実施

*平成二十七年九月十七日(木)

- ・山形市中央公民館 大会議室
- ・ガイダンス・講演↓「街を歩いて屋外広告物を学ぼう」街なか視察
- ↓フリー討論・発表↓総括・補足・講評
- ・五十一名参加・行政十八名、組合関係十六名、一般十六名、講師一名

山広美事務局です!!

去年は、福島の大大会に初めて参加させていただきました。

東北各県の事務局の方々、日広連の方々、また全国の皆様にお会いできて良かったと思っています。ほんとうに盛大ですばらしい全国大会でした。

今年は、雪が少なく暖かくて過ごしやすく感じます。でもこれからまたまた降るでしょうけど、できれば山の方にだけ降ってもらいたいものですね。

中川 順子

看板材料の事ならお気軽にご相談下さい

看板材料販売

屋内外シート 全メーカー

旭化成 テラガラス

インクジェットメディア全般

カナセ工業 カナセライト

三菱レーヨン アクリライト

セキスイ成型 エスピロン

三協化成 サンプルート

加工サービス

- ・大判インクジェット出力
- ・5M幅ターボリン出力
- ・FFシート出力
- ・のぼり
- ・懸垂幕
- ・シルクスクリーン製作、印刷
- ・アクリルレーザー加工
- ・彫刻制作
- ・成型品加工
- ・工業部品加工



各県発送承ります!!



〒990-0034 山形市東原町二丁目20-16
TEL:023-632-2435 FAX:023-632-2438
E-mail:shop@craft-art.co.jp



レジャーに、お引越しに、工事作業に至るまで...。車のことならなんでも!!

BOXバンから10人乗ワゴン



高所作業車 スカイスター/スーパーテッキ



マイクロバス



エックスレンタリース北都株式会社
本社TEL 022-385-6891

- 六丁の目営業所 TEL 022-288-3711
- 長町営業所 TEL 022-304-5722
- 福島営業所 TEL 024-545-7755
- 会津営業所 TEL 0242-33-3711
- 郡山営業所 TEL 024-935-3711
- 米沢営業所 TEL 0238-23-4711
- いわき営業所 TEL 0246-25-5333
- 山形営業所 TEL 023-624-0151
- 置賜営業所 TEL 0238-50-1516
- 小名浜営業所 TEL 0246-54-5822



「平面絵画の誘惑」

秋田県屋外広告美術協同組合

理事・啓発委員長 照井 勉

(テルイカンバン有)

昨年十二月中旬、能代市内や県北部の絵描きさんたちからグループ展に誘われた、同じ能代市でもこちらは市町村合併以前から地理的にもまったくの田舎の人間であるし、人見知りもする。辞退したけど再三の執拗な誘いに負けて出品することにした。搬入で会場に行くと、出品する大人が七人、高校生が八人、高校生は県の高校の美術展で金賞をとった生徒たち。中にはレベルの高い生徒さんもいてきつと芸大に進むんだらうなと思える人もいた。思えばコンピュータ時代にあつて、この作品群つてアナログの世界だよなと今さらながら思い返していた。

ここで乱暴極まりない最短距離の美術史をある時期から個人的に流れを追う。王室お抱えの技能ある画家たちがあまたいた、その画家達の中から個人的な思いや自分で咀嚼した歴史画を描く画家が現れる。どんと飛んで印象派が絵画をより一般的なものとし、抽象絵画を宣言した画家カッデンスキーが現れる、そうこうしているうちに絵画を超えて観念を作品にしたデュシャン。デュシャンは昨今当たり前のように制作される芸大の生徒さん達の現代美術といわれる作品群に多大な影響を与え、七十年以上前の先人の芸術観が、今や当たり前のように私たちの目の前に現れている。極端な話、描かないアーティストが出現し、概念だけで作品を作らない美術家などが現れアートの世界は本当の終末を向かえてしまったかのようだ。このことは評論家や研究者に任せるとして、そんな現状を垣間見ても大きなため息はつかない。個人的には美術の概念や芸術の最先端を走るつもりは毛頭ないしその事にはそんなに関心もないのだ。五十数年前の子どもだった頃、印象派の分か

りやすいきれいな絵に魅せられたものだった、しかしセザンヌを知り、モンドリアンを知りクレイを知った。抽象画の世界に魅せられたのだ。抽象画とはいっても具象の形が多少確認されるものやダリのような絵まで関心を持った。いわゆるアカデミックと呼ばれるような、ある程度写実の世界に興味は薄れて行った。とはいえずジャンルにこだわらず目を引く画家たちは多かった。佐伯裕三や池田満寿夫の世界に魅せられ、棟方志功に打ちのめされ、ポロックにも脳天を一撃され現在に至っているのだ(私は平面絵画の世界に心躍る者の一人として話しているのかも知れない)



ポロック

広告の裏とかカレンダーの裏、白い紙を見ればストックしたくなる。画材店ではもちろんだが、百貨などの文具コーナーでは何故かワクワクしてしまう自分がある。白い紙に鉛筆で線を引く、クレヨンでごしごしやる、筆にペンキを付けて何かを描く。つまり腕と手でそれらを操

る行為、そのワクワク感、これはいくらコンピュータ時代にあつても、人間の退化しない行為である。人が手であれ箸であれスプーンを操り食事をする、それと同じような行為なのだ。今やパソコンなど、手で描く行為以上に手で描いたように思いのままの作品が出来ていく、さもアナログ世界の終焉のように。それは業界内でもご承知のように、看板面を支配する文字も絵もグラフィーションも全てがCGのなせる業である、今や筆とペンキで看板面を制作するなどあるのだろうか。手描きでは商売が成り立たないのだ。素晴らしい手描きの看板を作成したところまでそこでは経営が成立しないし、自慢しても始まらない、レベルの高い手描きのできる個人はまだ世の中には一杯いるのだが。

さてアートの世界を見てもCGの世界は平面から動画にいたるまで加速度的に進歩している。しかしそれはそれだ、スマホ無しでは夜も昼も明けぬ若い芸術家たちも筆を持つことを止めない、白いカンバスに立ち向かうことを止めない、それは生身の人間だからだ、スマホを必要としない俺と同じだ。

秋広美事務局です!!

十二月の下旬、とても暖かい日が続きました。今がチャンスとばかりに家中のシーツやカーテンを洗って家中すっきりしたので、今年の大掃除は少し楽ができそうです。でも、換気扇、窓に目をやると、まだまだやること山のようにありました。確か、昨年は家の大掃除は冬は寒いからとこれから暖かい、春から夏にかけてしようかと決め、結局、夏が過ぎ、秋も過ぎこの時期となつてしまいました。少しでも楽にできる方法を調べながらやるなくては(笑)

さて組合の方は、秋田の人口が減るように組合員も減っております。組合に入るメリットなどをアピールできる機会をつくって盛り上げていけたらと思います。これからは寒い日が続く、インフルエンザも流行ってきます。予防接種をしても効果が切れる頃に流行ってしまう(笑)自分でできる予防をしっかりして皆様もお体に気をつけて下さい。

小林 明子

秋田県屋外広告美術協同組合賛助会員

○ 株式会社アサヒヤ塗料

秋田市仁井田路見町 6-21 TEL 018-839-2664

○ 中村塗料販売株式会社

秋田市寺内蛭根 3-24-15 TEL 018-863-2005

○ 株式会社丸和商会

秋田市東通 6-9-4 グランデール東通101号 TEL 018-874-8731

○ (株)システムアート秋田

秋田市外旭川字田中 43-3 TEL 018-863-7514

ガイダンスLED
ARROUIS

暗い場所での誘導に抜群の効果を発揮します!!
安全保安用品に最適!!
点滅 10パターン セット販売

総合サイン・LED資材開発・販売・輸入コンサル
株式会社 アイ・エス・パートナー
http://www.is-part.com TEL.03-5917-3680 sales@is-part.com

青 森 県



リングガチャポン

青森県屋外広告美術業協同組合

十和田支部長 齊藤 直樹

(サイトウ看板店)

皆様、新しい年を迎え希望に満ちた新春を迎えられたことを、心よりお慶び申し上げます。さて昨年の仕事での私の一番印象に残っている思い出(楽しかった仕事)はリングが出てくるガチャポン制作です。もちろん、このようなガチャポンはこの世には無く日本初のリングガチャポンです。

ですが無いと言うのは全て一からの制作になります。お客様には出来ると言ったものの、さどう作ったらよいか先ずは情報収集から始めました。ほとんどはネット検索でしたが、なかなか大型のガチャポンなどそうありませんし、それに大手ガチャポンメーカーが内部のメカ部分の写真など投稿する訳もありません。



調べた結果、国内通常の一番大きいガチャポンケースは七〇ミリで最大のサイズでも一〇〇ミリという事でした、だが今回の制作するリングガチャポンはリングを入れる球のケースの大きさは一二〇ミリの大きさです、この大きさの球をキレイに落ちてくる構造と心臓部分のメカの制作をまずは考えなければなりません。それとリングは重くて丸くはありませんので歪な回転をしながら転がってきます。これをどう一般のガチャポンみたく「ガチャガチャころころポン」と出でくるのを考えなければなりません。

最初は薄いプラスチックや厚紙などを使いサンプルを何個も作り、悪いところは改善して何度もテスト、テストの日々でした。まだリングの採れる時期ではなく本物が手に入らず百円ショップで野球ボールやテニスボールそしてビニールボールと色々なボールを購入してテストしました。メカ部分は耐久性を考え丸く曲げたステンレス板を溶接して作り、ガチャガチャと音が出る

ギヤ構造は振動して音が増幅する事を考えアクリル板を使用しました、これは見事に成功しアナログ感覚の印象です。(嬉し笑い)一番苦労し時間が掛かったところはリングが沢山入ったケースから一つだけ落ちてきて転がることです。

色々な構造を作りテストしましたが重いリングのケースはお互いが下に落ちようとするので直ぐに出口で詰まります、試行錯誤のゆえ何とか構造も完成しました。

制作日数約一ヶ月間費っていたのですが、この時点ですでに半月をも過ぎていました。でも一番の心臓部分が出来れば後は問題ありません、最初にラフスケッチしたデザインをイメージしながら寸法を割り出し作って行きました。設計図などないので全ては頭で想像しながらの制作でした。

結局、納品する日まで本物のリングを入れた丸ケースを出すテストは出来ないまま、当日日本番になりました。まずはお客様の反応は高さ二メートルの大きさにびっくりしています、私はこれでリングが「ガチャガチャころころポン」と出てきたらもう大喜び、と心でお願いをしていました。

さてスタッフの皆さんがリングの入ったケースをひとつひとつ入れ程よくリングの数がモリモリになったところで念願の本番です。私は息を飲み……お客様スタッフの方がハンドルレバーを右へ回しました。「ガチャガチャころころポン」と、とても懐かしい響きとともにリングが出てきました。

一瞬置き、スタッフの歓声が「ウォー」と会場に響きまさに感動の一瞬でした。一から全て考え材料以外は全て自社製作で作上げた成功は喜びと感動そのものでした。

その後、噂がうわさを呼び朝の情報番組「ZIP」に取り上げてもらい、その宣伝効果もあり、多い日で一日八〇人も人がやりに来たそうです。結果大成功となり私たちもお客様た

ちも喜び良い仕事をやらせて頂いたと思っております。ちなみにこのリングガチャポンが置いてある場所は、今やとても人気がある日本全国、海外にもあるホテルにあります。星がとてもキレイなホテルです。

今回の仕事で私たちサイン業界は「人に感動を与えられる」仕事だと再確認いたしました。お客様の喜び顔が見れるのが一番の喜びと希望をくれます。人に感動を与えられる仕事はそれほど無いと思います、この仕事を出来ることが本当にありがたく思います。

今年もまた「人に感動を与える」商品、作品を作って行きたいと思えます。ありがとうございます。

第二回

あもり広告景観タウニングミーティング実施

- *平成二十七年八月二十五日(火)
- ・弘前市立観光館多目的ホール
- ・まち歩き↓ワークショップ・発表↓講評
- ・四十六名参加・行政十八名、組合関係十八名、非組合員一名、来賓九名

青広美事務局です!!

福広美及び地区連の皆様、昨年の一大イベント「日広連全国大会」が無事終了されましたこと心からお祝い申し上げます。本当にお疲れさまでした。

さて、昨年わが青広美に二つの大きな出来事がありました。一つは、十月に開催された「B-1グランプリイン十和田」においての共同受注事業でした。組合員が一丸となつて取り組み、開催前日の悪天候にも屈せず遣り遂げ、大きな自信と充実感を共有しました。事務局は対してお役にも立てなかつたのですが、組合員の団結と言うことに少しだけ関わることが嬉しいのです。

もう一つは、事務局の移転です。移転先は私の自宅。大きな書棚が一つ、小さな書棚が二つ、コピー機、二人用の机、パソコン。広めのリビングだったので思い通りに全て収まりました。事務局の仕事も効率よくこなせていきます。お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。本年もよろしくお祝い申し上げます。

野月 幸子

大型インク出力
ジェット出力

金属・木・カルプ・切文字
アルポリ・マグネット・他

(最新鋭のレーザー・ルーター加工機)

株式会社 原町サイン

http://www.hm-sign.com

本社(福島県南相馬市) 0244-23-5727

- Scotchcal Film
- Scotchprint Graphics
- Scotchcal Graphics Material
- Panagraphics
- DI-NOC Film
- Scotch-Tint
- VHB tape
- LED

スリーエムジャパン(株) 特約加工販売店

株式会社 丸和商会

宇都宮市瑞穂 3-5-14

TEL 028-656-3611

東京・高崎・郡山
仙台・秋田・青森

岩 手 県



全国大会に参加して!

岩手県屋外広告美術業協同組合

専務理事

藤田健一郎

(旭ネオン(有))

昨年六月に開催されました、第五十七回日広連全国大会in東北・郡山に岩広美青年部の一員として参加しました。(全国大会初めての参加です。)

東北地区の青年部は大会当日、会場内での「物産展」担当でしたので、十時に会場入りし、特産物などの販売準備を始め、全国から参加される組合員の皆様をお出迎えいたしました。岩手は特産品販売業者と組んで、三大麺(わんこそば、盛岡冷麺・じゃじゃ麺)をはじめ岩手の特産品の販売をしました。

大会式典前やその後の記念講演会前などに、たくさんの方々にわが県の特産品を購入していただき感謝しております。



しかし、まだまだ売上向上・岩手の特産品に対する知名度向上の余地があったかなと思います、努力不足を痛感しています。

懇親会では会場の広さ、参加者の多さに最初はただただ圧倒されていました。また、宴会中は料理の豪華さや、ハワイアンダンスなどの出し物にとっても感動いたしました。

全国大会の参加はここまでで、翌日は午前中に帰途につきましたが、一日だけでも学ぶこと感動すること、考えさせられることいろいろ多かったと思います。出来れば翌日、翌々日の観光なども参加して、もっと全国大会を楽しめれば良かったのかなあと思いますが、それは次回以降機会があったときのお楽しみというふうにいたします。



第二回 岩手広告景観タウンミーティング実施

*平成二十七年六月二十三日(火)

- 盛岡駅前「じよ居」
オリエンテーション↓出発式↓「みんなであち歩き」美しい街並みを考える
まち歩き↓ワークショップ↓講評↓意見交換会
約七十名参加...行政、組合員、学生、商店街関係者

岩広美事務局です!!

担当しました昨年の東北パネル展はいわての玄関口盛岡駅前広場を会場として、来盛の皆様には楽しんでいただけたと存じます。

天候に恵まれ青空と岩手山を仰ぎながらの開催は国体を目前に活気づき始めた盛岡駅前広場を賑わせ、多彩なパネルが道行く人々の目を魅了していました。無事に開催できましたのは皆様のご協力の賜と心より御礼申し上げます。



三月の東北大会はご不便をおかけしますが、車窓よりゆったりとした風情を感じながらの癒され街道先の遠野市です。河童が登場する柳田國男の遠野物語を生んだ民話の郷として知られ、木彫り観音像日本一の大きさを誇る福泉寺の福德観音像、国重要文化財指定の石垣の上に建つ南部曲りや千葉家など、民話の郷を十分に楽しんで頂きたいと思っております。また、道路状況が宜しければ世界遺産登録の釜石市橋野高炉跡も御座いますのでぜひ東北大会へはお時間に余裕を持ってお越し下さい。

小野寺 美智代

日広連・賠償保険のおすすめ

プラチナ・ゴールド 対人賠償2億円に補償拡大!

第一賠償プラチナ

屋外広告物+建設工事を補償するワイド版

第一賠償ゴールド

塗装・熔接事故も支払い対象。さらに、作業している壁面、ガラス等も対象。保険金は対人2億円1事故5億円、対物5,000万円。今、おすすめです。

第一賠償シルバー

低コストで必要な補償をカバーできる新商品

賠償第二動産総合

施主の保険=第二。看板本体の保険=動産総合。物件ごとの加入が出来ます。

一般社団法人 日本屋外広告業団体連合会

引き受け保険会社東京海上日動火災保険株式会社

代理店・有限会社オールエージェンシー

TEL:03-3626-2233 FAX:03-3626-2255

高所作業車各種・車輛・発電機から 汎用機・特種建設機械の総合レンタル



総合レンタル業のバイオニア 西尾レントオール株式会社 東北営業部 http://www.nishio-rent.co.jp/

- 仙台中央営業所 〒984-0002
仙台営業所 〒981-3201
仙台南営業所 〒981-1226
大崎機械ヤード 〒989-6135
石巻営業所 〒986-1111
山元出張所 〒989-2201
山形営業所 〒990-2231
盛岡営業所 〒028-3621
陸前高田営業所 〒029-2203
大船渡出張所 〒022-0005
仙台駅前センター-新築センター 〒983-0013
仙台市若林区卸町東5-7-1
仙台市東区泉ヶ丘1-12-3
名取市植松字田野部57-1
大崎市古川稲葉字前田63-1
石巻市鹿又字蓮葉42-1
亘理郡山元町山寺字物見前17-8
山形市大字大森字岡門伝1431-6
紫波郡矢巾町大字広宮沢第3地割72-1
陸前高田市竹駒町細根沢14-6
大船渡市日頃町字中板戸14-2
仙台市宮城野区中野2-1-11
TEL.022-288-3240
TEL.022-373-5555
TEL.022-382-5661
TEL.0229-23-3235
TEL.0225-86-5240
TEL.0223-37-8240
TEL.023-685-5222
TEL.019-697-7587
TEL.0192-53-2620
TEL.0192-22-5577
TEL.022-388-9240

宮 城 県



『第11回日広青連全国交流会in長崎』

宮城県屋外広告美術協同組合

みやび広和会副会長

星川 義和

(サインフォーラム東北会長)

(株)星美

平成二十七年十一月六日(金)〜七日(土)の行程で第十一回日広青連全国交流会in長崎が開催されました。前年、宮城県仙台市で開催された交流会では、多数の参加を頂き、日広連長崎広美青年部様より、東日本大震災を受けての義援金を頂いておりました。

交流会にはS.F.東北として青森一名、宮城七名、福島三名、計十一名での参加となりました。我々宮城チームは前日、福岡入りし、看板設置状況や街並みを見て仙台との違い等、話し合いました。翌日、長崎駅へ集合し、全国の青年部の皆様とご挨拶し、過去最大の九十八名での交流会となりました。昼食ではドラゴンワールドでの長崎名物「トルコライス」。長崎のポップ・マリーコート、中田さんの開催

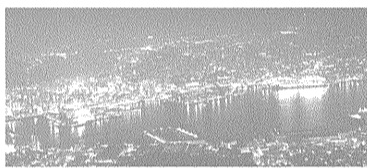


のご挨拶の後でご馳走になりました。その後、世界文化遺産登録され一躍有名になった軍艦島へ三組に分かれて出港。この時期は波があり上陸は困難と言われていました。幸い天候が良く誓約書にサインをし、上陸する事が出来ました。ガイドさんの説明より明治時代から昭和時代にかけては海底炭鉱によって栄え、一九一六年には日本で最初の鉄筋コンクリート造七階建ての集合住宅「三〇号棟」が建設され人口が最盛期を迎えた一九六〇年には五、二六七人の人口があり、人口密度は八三六〇人/km²と世界一を誇り東京特別区の九倍以上に達しました。炭鉱施設・住宅のほか、小中学校・店舗病院・寺院・映画館・理髪店・美容院・パチンコ屋・雀荘・社交場などがあり、島内においてほぼ完結した都市機能を持っていたそうです。この狭い島になんでも揃っていたとは戦後の産業革命とは凄まじい発展だったのだと感じました。しかし、一九七四年に閉山と

なつてからは建物の老朽化、廃墟化のため危険な箇所も多く、島内への立ち入りは長らく禁止されていきました。島内の建築物はまだ整備されていない所が多いものの、ある程度は安全面での問題が解決され、二〇〇八年に長崎市で「長崎市端島見学施設条例」と「端島への立ち入りの制限に関する条例」が成立したことで、島の南部に整備された見学通路に限り、二〇〇九年四月二十二日から観光客が上陸・見学できるようになったそうです。今後も台風や経年劣化等により崩壊の危険性があり、大切な日本の歴史の一つである明治期の産業施設を残していくには修正保存方法の確立を急がなければと思いをしました。

その後、日本三大夜景及び「世界新三大夜景」に認定された稲佐山に登り一〇〇〇万ドルの夜景に感動!!忘れられない美しい記憶となりました。懇親会は長崎ブルースカイホテルにて各単組の自己紹介をし、東北から義援金の御礼として「青森の田酒」、宮城の雪の松島をお土産として持参しましたが、改めて長広美青年部の皆様より義援金を頂いてしまいました。有効に活用させて頂きます!

二次会でも、全国の青年部の皆様との交流を深め、長崎の夜、ちゃんぽん、佐世保パーガールとお腹も心も満タンに楽しませて頂きました。翌日は、飲みすぎ、食べ過ぎ、胃のもたれと戦いながら世界遺産登録された長崎造船所の見学。三菱重工発祥で大型船や戦車、ゼロ戦の歴史を学びました。平和公園では記念撮影をし、悲惨な戦争を二度と繰り返さないと誓い長崎新地中華街へ大浦天主堂を拝観し、グラバー園散策後、長崎駅にて解散。次回の全国大会「鳥取」でお会いしましょう!と約束をしてきました。長崎は、異国情緒あふれる町に、開港されていたさまざまな文化が残り、美しい景色、有名な軍艦島、平和を祈り考えられる長崎原爆の被爆地、佐世保港など、様々な魅力的な顔を持つ長崎の深い歴史を感じると



ても良い交流会となりました。私自身、S.F.東北会長を二年務め再任と昨年の日広青連常総会にて役員改選があり副会長に任命されまた二年の役職を頂きまして、今後とも東北地区内や全国での行事に積極的に参加し、全国の同業者の皆さんと意見交換し、交流を深め青年部を盛り上げていきたいです

第二回 宮城・広景観タウニングミーティング実施

*平成二十七年九月十日(木)

- ・ 仙台駅前集合↓ホテルレオパレス仙台
- ・ 挨拶↓記念撮影↓看板安全点検見まわり
- ↓意見交換会↓発表↓講演
- ・ 三十一名参加・行政五名、組合員二十一名、市民二名、報道一名、事務局二名

宮広美事務局です!!

新しい年を迎え、昨年十二月六日に開業した仙台の地下鉄東西線沿線を始め、地下鉄仙台駅もサインが大きく変わりスムーズな乗降にひと役買っています。更に東西線沿線には、観光施設や様々な歴史・文化地区があり仙台観光がより便利になりましたので、是非遊びにいらしてください。

また、東京オリンピックのイタリアのホストタウンに仙台が決定しました。目に飛び込んでくるサインにも様々な彩りが感じられることを想像し、今から東京オリンピックにワクワクしています。本年もよろしくお願います。 秋葉 久美

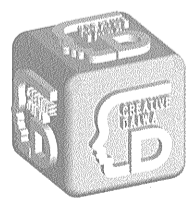
これほどまでにサインや街並み景観に一般の方が興味を持ち始めているとは、仙台市都市整備局主催のシンポジウムで感じたこと。サインに魅かれていく市民と街並みを考える行政との会議や場所には、その想いを表現できる業界人が入ることで現実性が増していくはず。サインの存在に注目してくれているという嬉しさと共に何か新しい波が近づいてきているような気がしています。「屋外広告美術協同組合」の名前を認知してもらえれば何機かも!宮城の事務局は二人でそれぞれ何だかわクワクワしています!今年もよろしくお願います。 高橋 ちよ子

看板資材 卸販売 プラスチック各種

上記の事ならなんでも気軽に御相談下さい。

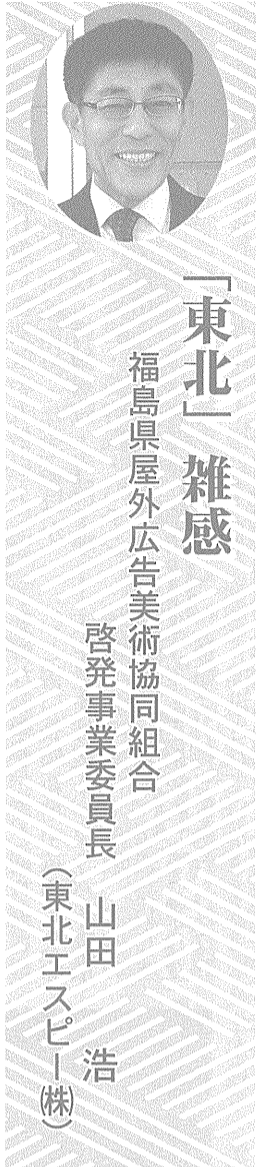
東北藤光 株式会社

仙台市宮城野区福田町南一丁目2-46
TEL (022) 254-0611
FAX (022) 254-0608



クオリティをかたちに。

各種看板・屋内外サイン・ネオンサイン
株式会社/クリエイティブ ダイワ
福島県郡山市田村町金屋字下夕川原6番地 〒963-0725
■TEL(024)944-0088(代) ■FAX(024)944-0066



「東北」雑感

福島県屋外広告美術協同組合

啓発事業委員長 山田 浩

(東北エスピー株)

東日本大震災から五年が過ぎ、被災地ではまだ完全なる復興に至っていないのが、現状ではないでしょうか？東京電力福島第一原発の収束処理についても一向に、先が見えてきていないのが、正直なところでしょう。

そんな中、昨年、第五十七回 日広連全国大会を、東北で開催することができたことは、非常に意味が深いことのように思います。地方大会としては、稀にみる来賓含め五三〇人以上を集め、地元福広美と東北地区連の仲間が一つになり、全国から集まった御客様を始終精一杯の笑顔の御接待で、お迎えすることが出来ました。大会終了後も、多くの全国の参加者より感謝の言葉を頂戴し、全国にその東北の力をアピールしました。そしてなにより準備・運営に携わられた皆様、本当に御疲れ様でした。

ところで、この機会に「東北」について、ちょっと私なりに考えてみました。

東北地方とは、一般的に青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島の六県をいいますが、この地方の名称は、歴史的に変遷しています。まず、古代には機内から始まる東海道と東山道の各々の道の奥にあることから「みちのおく」「みちのく」とされ、当地方南部（南東北）に「道奥国」（みちのおくのくに）が設置。後に陸奥国と出羽国が設置されると、両者から一字ずつ取った「奥羽」「奥羽两国」「奥羽州」と呼ばれました。また、両者を一括して実効支配を敷いた奥州藤原氏や奥州探題などの例から、単に「奥州」ともいわれました。明治元年、奥州列藩同盟諸藩に

対する戊辰戦争の戦後処理の一環として、陸奥国、出羽国が分割され、新設の県の数から「東北六県」となりました。

一昔前までは、東北は、関東圏・近畿圏から見るとどうしても、経済的にも、文化的にも、遅れた地域・いなかの訛の代表といえれば東北のズーゾー弁、となにか東北出身であることがコンプレックスになるような感がありました。

太田裕美さんの「赤いハイヒール」という歌に「故郷なまりが、それから君を無口にしたね」という歌詞が出てきますが、流通・情報文化の発達した、現在では、もうそんなことは、無くなってきました。

東北訛を売りにしているタレントなども最近は多くなってきましたし、今の若い人で、東北が、首都圏に対して遅れていると思っている人は、いないでしょう。

インターネットやSNSの普及は、時間や場所を超えての情報発信・交換を可能にしています。しかしながら、産業界活動に於いて、首都圏・関西圏の企業が、東北に進出してきているのに比べ東北の企業が、東京や西日本に拠点を持つのは少ないように思います。東北地方はなんと、本州の約三割を占める面積を持ち、高速道路が縦横に通るすべての県に新幹線が通じている唯一の地域でもあります。

そして今度の大地震で、大企業の生産・流通拠点の多くが東北地方に存在し、また原発は、首都圏の電力供給源のひとつとなっていたことも再認識させられました。いわゆる悪い言い方

をすれば、日本に於いての、東北をはじめとする地方は、いまだ首都圏・中京・近畿中心圏の植民地的受け皿となっていることは、まんざら否定できないような気がします。

明治維新より一五〇年以上が過ぎた今、地方、特に東北地方の持つ潜在的可能性というものが注目される時代となってきたのではないのでしょうか？

われわれ業界においても、今回の全国大会で見せた、東北地区連の仲間の結束力と、ネットワークが、今後、大きく求められることとなるに違いありません。

福広屋外広告タウンミーティング実施

*平成二十七年九月五日(土)

- ・スパリゾートハワイアンズ
- ・研修会
- ・安心な街づくりに対する行政担当者の基調講演
- ・発生事故例及び対応策
- ・七十五名参加・組合員五十六名、いわき市登録（非組合員）十九名

福広美事務局です!!

明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。さて、去年の日広連全国大会におきまして全国の組合員・事務局様には、大変お世話になりました。特に東北の組合員・事務局様には、励ましの言葉・応援をいただき、無事終えることができました。改めてこの場をお借りし、御礼申し上げます。

そして、いろいろと大変ではありましたが組合の人と人との繋がりが、温かみを改めて感じる事ができ、経験させていただいたことに感謝申し上げます。

本 田 律 夫

東北地区連通信

昨年は一大イベントであった第五十七回日広連全国大会が郡山市で開催されました。東北地区連の皆様のご協力はもとより、特に地元福広美の皆様の一丸となった取り組みが花を咲かせ、全国から大勢のお客様をお迎えしての和やかで温かな全国大会になりました。笑顔一杯でお帰りになった姿が今でも忘れられません。今年の鳥取市での全国大会でも開催地の皆様には是非この感動を味わっていただければ……さて、今年の三月十一日は東日本大震災から丸五年となります。一人一人それぞれ忘れられないあの日。奇しくもあの年の三月は、東北大会が今年と同様に岩手で開催される予定でしたが、結局、あのようなかで開催できるはずもなく中止となりました。そのような経緯もあり、今回は、岩広美の白澤理事長を始め岩広美の皆様のお骨折りによる「民話の里・遠野市」に大勢の東北の仲間をお迎えいただき、久しぶりに岩手での東北大会となります。(岩手開催は、平成十六年三月二十七日以来です。)今後も険しい道のりですが復興へ向け東北人として一丸となって共に進んでいきたいと思います。

今後の地区連の動きですが、今年で十回目となります。官民合同連絡会議を七月二十日に仙台市で開催予定です。年に一度、官民が共に語り合える場にもなりつつあり、各県・市行政担当者による組合への認知度も高まってきております。安全で安心な街づくりに共に向き合う方向性も見始めているように感じます。

また、昨年は全国大会で六県の理事長達の絆が深まったことが契機となり、大戸地区連会長の呼びかけに、急遽、理事長会議が岩手の合同会議前夜に復活しました。翌日、理事長全員が柔和で穏やかな表情をされていたのがとても印象的でした。理事長会議の復活は地区連にとっても、各単組にとっても重要な位置付けとなるはずで、

事務局長 秋葉・高橋

編集後記

新聞で「五感を使うことの大切さ」というコラムを読んだ。パソコンをはじめゲームやスマホ、SNS等のバーチャル(仮想、擬似)なものであふれかえっている現代では五感を使うことも少なくなっている。自然の中で感じる陽射しや風の音や草花の匂い、そのときその場にいなれば感じられないことを体感することが五感を使うことにもなるらしい、その五感と共に記憶されたものは、いいこともいやなこととも長く心にとどまるといふ。

そういえば若いころに体験したことは鮮明に記憶しているのに、数年前、数ヶ月前の記憶はいまいちである。昔よく母が言っていた「一年たつのが早いね」という台詞を最近私は私が頻りに使っている、これも「記憶に残ること」が少なくなってきたらしい。振り返ってみれば仕事であれプライベートであれ、ほぼ毎日のようにパソコンの前に座っていることが多い。感動することも少なくなかった。ある年齢を超えたら積極的に運動しないと筋肉が衰えるように人間の脳も積極的に刺激を与えないと衰えるということだろう。今年こそは思いながらもまだ実現できていないことがあるので、まずはそれからやってみよう、五感を駆使して。

地区連啓発事業副委員長 鷹森 泰治(山形)